Cisco Start シリーズ導入事例

町田市教育委員会

学校教育現場のシンクライアント環境を Cisco Start (Cisco UCS C220 M5) で構築し、セキュリティを担保しつつ場所を選ばない教職員の働き方を実現

町田市は、教育現場における ICT 環境の充実を重点課題として取組を強化しており、情報化を推進させるため、パソコン、タブレットやネットワークの整備、ICT 授業の充実に努めています。

採用のポイント

学校の情報インフラ環境にとって最優先事項は信頼性・安定性です。仮にトラブルがあった時にもすぐに復旧できることが求められます。前年度に導入した Cisco UCS サーバの稼働実績を高く評価しており、追加導入の決断はスムーズでした。

町田市教育委員会 学校教育部
教育センター 担当課長　林 啓 氏

学習系ネットワークと校務系ネットワークの分離、USB メモリなどの外部媒体の利用やデータを保持する PC の持ち出しの削減により、紛失やウイルス感染などのリスクを軽減することができ、セキュリティレベル、管理性の向上につながりました。2017 年度は小学校・中学校各 1 校の ICT モデル校に先行展開し、翌年度以降、市内全域に順次展開していく方針となっています。

課題

教職員が使用する PC やネットワークの更新時期に合わせ、IT 環境を全面的に見直すとともに教職員の働き方改革を実現

ウイルス等の脅威への対応に伴う管理コストの増大や、それらの脅威から校務系の情報を守ることが課題でした。また、教職員のワークライフ バランス改善のため、授業のない日にも学校に行くことなく校務を行えるテレワーク環境の導入を検討していました。

ソリューション

シスコのサーバ Cisco UCS C220 M5 を導入し、シンクライアントの仮想基盤を構築、校務環境を整備

サーバ上にシンクライアント用の仮想デスクトップ環境を集約。ユーザの端末には画面転送プロトコルを使用する為、端末内にデータを保持せずセキュリティが保たれます。

結果～今後

2020 年までに市内全教職員を対象としてシンクライアント基盤を拡張予定

シンクライアント化に取り組んだ結果、教職員はインターネット経由でデータにアクセス可能となり、その結果、働く場所を柔軟に選択できるようになりました。

Cisco Start サーバ
Cisco UCS C220 M5

Cisco UCS C シリーズは、日本語対応の管理ツールを標準搭載した x86 アーキテクチャのラック サーバです。インテル社製の最新 CPU や多くの規格に対応しており、高い処理能力、信頼性、管理性を実現しています。

町田市教育委員会

所在地　東京都町田市森野 2-2-22
市制施行　1958 年 2 月 1 日
URL　http://www.city.machida.tokyo.jp/

導入パートナー会社

株式会社 NTTデータ
http://www.nttdata.com/jp/

©2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。
「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)
この資料の記載内容は 2018 年 10 月現在のものです。
この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。

お問い合せ先
シスコシステムズ合同会社
〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
http://www.cisco.com/jp

1615-1810-000-RM